

やっぱりこの時間が癒されます

校 長 武井 正明

今日も暑かった。2学期が始まってもうすぐ二週間が終わる。
吉中の皆さん、今日もお疲れ様。一斉下校の生徒玄関に出る。
一日が終わって、ホッと笑顔で帰る吉中生達と交わす会話が私の癒しだ。
今日は3年生6人の男子と、楽しいひとときを過ごした。

「校長先生、いつも何時ころ帰るんですか？」

「今は6時半くらいかな」「意外と早いんだ」「そうだね。1学期は部活とか終わるのが遅いから7時とか7時半くらいが多いけどね」

「校長先生も、学校来るのが嫌な時はあるんですか？」

「今は全然。でも前はあったよ」「えっ？それは子どもが嫌で？」「そうそう。生徒の指導がうまくいなくて嫌になった時なんか何回もあったよ。でも吉中はみんないいから学校が嫌な日は全然ないよ」

「俺、学校終わって帰る時が一番楽しいわ。ドーパミンがいっぱい出る」

「そりゃそうだよ。皆にとって学校は、やっぱり仕事みたいなもんだからね。大人数で教室の中にいるんだから我慢しなきゃいけないこともいっぱいあるしさ、そりゃ帰る時は解放されて自由な気分になるもんね」

みんな、ウンウンと頷く。

「またあなた、背伸びたんじゃない？」「伸びてないっすよ、気のせいですよ」

「そうか…。あなたは伸びたよね」「ハイ伸びました」

今はまだ9月、2学期も始まったばかりだ。君たちとこんな話をしているけれど、きつとあつという間に卒業の日は、やってくる。

「昨日は卒業生がふたり学校に来たよ。高校も楽しいけど、中学時代はもっと楽しかったって」「ふ～ん…校長先生は高校時代、バイトとかやってましたか？」「バイトやるくらい元気があればよかったけど、私の高校時代は『暗黒』だったからさ、そんなエネルギーもなかった。ただ暗黒時代もいつか終わる。悪い時もあればいい時もくる」

中3の君たちと、ちょっと大人の話ができるのも嬉しんだなあ、これが。

サヨナラをして彼らを送る。カメラをもってきてればよかった。この6つの背中を撮らなかつたのが惜しい。何とも心和む6人が並んで帰っていった。下校時の会話が聞こえてくるような、いい時間。成長したなあ…。私も優しい気持ちになる。

こんな生徒達との毎日だ。今の私が学校に来るのが、嫌になるわけがないでしょ。

こういう毎日がずっと続いてほしい。だから重ねて言います。登下校は車にくれぐれも気をつけて。吉中のひとりひとりが、親御さんから貰った大切な命なのだから…。